

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	12いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	現人員体制の可能範囲で、市民の好奇心を「育む」ため、生涯学習推進センター内のディスプレイを工夫し、実施する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	市民に生涯学習情報を提供するため、掲示物等のディスプレイの工夫を継続し魅力ある施設運営を行う。
②①に基づく取組み結果	市民が気持ち良く施設利用でき、オリンピックなど、タイムリーな生涯学習情報を提供し関心をもってもらうようディスプレイを工夫した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民 関係機関職員	意図(対象をどうするのか)	活力のある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	生涯学習施設の供用及び生涯学習情報の提供			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自己実現の場として、さらには社会参加への機会の場として、利用者は増加し、学習意欲の多様化が進んでいくものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	利用者の増加に対応し、システムの効果的な利用を行い、さらに効率よく「施設予約」などができる利用しやすいシステムの構築を図った。また、施設利用者にとって快適かつ好奇心を「育む」ためのディスプレイを、職員アイデアにより実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習推進センター利用件数	2,085	1,449	1,835	件	業務取得
	ii	インターネットアクセス件数	32,058	91,465	120,997	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	28,576	31,139	金額(千円)	内容		38,033	
	国支出金(千円)		10,753	使用料及び賃借料			
	県支出金(千円)		6,936	賃金			
	市債その他(千円)		5,957	委託料			
	一般財源(千円)	28,576	31,139	5,079	需用費	38,033	

IV 評価・検討

①課題	年々市民の学習意欲の多様化・専門化が進んでおり、学習機会の増加が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コスト削減のための人員体制や組織の統廃合を進めるなかで、多様な学習要求に対してサービスの向上を図るため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越	
		H27⇒28繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成29年度への繰越額(単位:千円)					

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	3	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	さらなる学習機会の提供に努め、事業の改善等を進める。改善の方向性として、実施する講座の講師を、可能な範囲で、市内の方に依頼することで、まちの魅力再発見に繋げる。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	「人材育成」の視点をより強く持って、事業を実施していく。 市民との企画事業について、検討から事業実施するという作業が、「地域のため、市民のため」に繋がり、その成功体験がまち(故郷)を思う気持ちに結びつくため、企画事業に参画する人を増やそうべく募集のPRに力を入れる。
②①に基づく取組み結果	学習センターの講座にて市民の方に講師を依頼し実施した。主なもの①東部学習センター市民セミナー:第二中学校卒業生の大学生を講師に招き「ラグビーの楽しさを学ぶ」②中央公民館:元教員による古典講座など。参加者アンケートでは「このような講師が市民にいる」など好評だった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどうするのか)	活力のある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	コスト削減のため、人員体制や事業の改善等を行いつつ、地域の学習拠点としての有効性を高める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習意欲の拡大、学習サークルへの参加によって、さらに学習センターを生涯学習の場として利用する市民が増えるものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	市民の学習ニーズに応え、学習意欲を満足させるため、市民の関心があるテーマを選ぶようにし、学習内容の創意工夫に努めた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	延べ主催講座参加者数	21,725	20,294	20,550	人	業務取得
	ii	延べ施設利用者数	255,487	287,439	296,191	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算	
事業費(千円)	85,726	85,618	金額(千円)	内容		97,356	
国支出金(千円)			85,618	市内5館の管理運営に要する経費			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	85,726	85,618				97,356	

IV 評価・検討

①課題	学習ニーズの多様化・専門化及び学習意欲の向上から、こうした希望に応える講座提供が求められる。市民との企画事業については、企画委員の継続的確保が課題である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域の生涯学習の拠点として、市民ニーズにフレキシブルに対応できる講座内容の立案を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越	
		H27⇒28繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成29年度への繰越額(単位:千円)					

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館蔵書・資料整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	小林由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	保育園や学校、行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	保育園や学校、行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。
②①に基づく取組み結果	団体貸出により、関係機関との連携が確立されている。また、市民・シニア向け事業の計画をした。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするのか)	利用者の多様なニーズに応えるため、図書館資料の質的向上を図る。
②事務事業の概要	多様化・高度化する学習欲求に対応するため、図書館資料・蔵書の充実を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和49年10月に条例を設置し業務を開始。その後昭和52年に市役所旧庁舎へ改修・移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、市民がより身近に利用できるよう、分館を整備した。今後も本館・分館の資料の充実を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	一般図書5,589冊、児童図書2,409冊、視聴覚資料148点を購入することにより、平成28年度末の蔵書数は、303,599冊となった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	蔵書数	301,319	303,029	303,599	冊	業務取得
	ii	図書購入数	7,779	7,876	7,998	冊	業務取得
	iii	図書貸出数	400,266	408,725	397,206	冊	業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算	
事業費(千円)	15,000	15,000	金額(千円)		内容	15,000	
	国支出金(千円)		9,696		一般図書購入:5589冊		
	県支出金(千円)		4,314		児童図書購入:2409冊		
	市債その他(千円)		990		視聴覚資料購入:148点		
	一般財源(千円)	15,000	15,000			15,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者の多様化するニーズに対応するために各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の精査・検証が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	図書資料購入	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入	15,000	15,000	当初	15,000	15,000	H28からの繰越	0
				H27⇒28繰越			現年分	15,000
				補正				
③達成状況	完了			流用・充当				
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館情報ネットワーク整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	小林 由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、インターネットによる図書の延長システム導入をする。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、利用者により多くの情報を提供する。30年1月からは1年間システムの再リースを実施する。
②①に基づく取組み結果	導入した結果、ホームページアクセス数、インターネットによる予約が増加した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするか)	利用者の利便性の向上のため、市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供する。
②事務事業の概要	インターネットを利用した蔵書データベースの検索及び貸出予約システムを運用する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	利用者の利便性の向上のため、市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	図書館ホームページアクセス数 168,501 件		インターネット予約数 32,269 件			
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i ホームページアクセス数	155,211	161,119	168,501	件	業務取得
	ii 予約リクエスト数	41,883	42,345	43,442	件	業務取得
	iii 延べ利用者数	122,133	122,780	120,872	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算
事業費(千円)	8,249	8,249	金額(千円)	内容		8,307
国支出金(千円)			542	プロバイダー回線使用料		
県支出金(千円)			221	電話料		
市債その他(千円)			6838	図書館オンライン使用料		
一般財源(千円)	8,249	8,249	648	インターネット検索・予約システム使用料		8,307

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	インターネットの普及による情報化社会に対応するため、図書館情報システム機器(利用者用検索パソコンの設置、利用者用端末の増台)のさらなる充実を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者が自宅にいながら図書の検索や予約ができるシステムや図書館館内での検索システムは、今後さらに内容を充実させ拡大していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	システム運用	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	図書館が所蔵する図書資料をインターネットで公開し、予約貸出をする。	8,250	8,250	当初	8,250	8,249	H28からの繰越	0
				H27⇒28繰越			現年分	8,249
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				



平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	小林由里			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度新規事業のため、評価なし。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	適正な施設の管理運営のため、28年度の空調設備改修工事設計委託の実施完了を基に、空調設備改修工事を実施し、利用者サービスの向上を図る。
②①に基づく取組み結果	平成28年度新規事業のため、取組み結果なし。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館利用者	意図(対象をどうするか)	適正な施設管理運営により、利用者の方に快適に図書館をご利用いただく。
②事務事業の概要		老朽化した高圧ケーブルの交換工事設計委託及び高圧ケーブル交換工事、また29年度の空調設備改修工事に向けて、空調設備改修工事設計委託を行う。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)		図書館は昭和62年4月に開館以来30年を経過し、空調設備の老朽化による利用者環境や資料の保管等への影響が懸念されている。		

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	高圧ケーブル交換工事設計委託及び高圧ケーブル交換工事、空調設備改修工事設計委託の実施をした。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	工事件数			3	件	業務取得
	ii	必要箇所			3	箇所	業務取得
	iii	延べ利用者数			120,872	人	業務取得
③事務事業のコスト		平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算
事業費(千円)			4,982	金額(千円)		内容	79,231
国支出金(千円)				462		高圧ケーブル交換工事設計委託	
県支出金(千円)				2484		高圧ケーブル交換工事	
市債その他(千円)				2036		空調設備改修設計委託	65,400
一般財源(千円)		0	4,982				13,831

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	図書館の経年劣化の進捗に伴う改修が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	適正な施設の管理運営のため、高圧ケーブル交換工事設計委託及び交換工事、空調設備改修設計委託を実施したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	高圧ケーブル交換工事設計委託、高圧ケーブル交換工事、空調設備改修工事設計委託	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	29年度の空調工事改修工事に向けた設計委託、高圧ケーブル交換工事を完了した。	7,657	6,867	当初	7,657	4,982	H28からの繰越	0
				H27→28繰越				
				補正				
③達成状況	完了			流用・充当	▲790		現年分	4,982
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事設計委託を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事を行う。
②①に基づく取り組み結果	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事設計委託を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図(対象をどうするのか)	改修の実施により利用環境悪化を防ぎ、環境の快適化により施設の利用促進に資する。
②事務事業の概要	市内の各学習センターのうち、東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事設計委託を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	ほとんどの施設が老朽化しているため、今後も改修工事は必要であると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事設計委託を完了した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 工事件数	13	4	0	業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	166,285	1,598	金額(千円)	内容	50,988
国支出金(千円)			1,598	設計委託	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)	151,100				38,200
一般財源(千円)	15,185	1,598			12,788

IV 評価・検討

①課題	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増加することが予想される。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習活動の場を安定的に提供するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	計画どおり実施した。	2,762	2,762	当初	2,762	1,598	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	1,598
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)						0